

三菱商事都市開発、横浜赤レンガの株式67%取得

Edited By LogisticsToday On 2015/07/01



三菱商事都市開発は、6月30日付で三菱商事の所有する横浜赤レンガの株式67%を取得した。

同社は現在、商業施設3件と物流施設4件の開発に着手しており、これまでの知見と経験を活かすことで、「横浜赤レンガ倉庫」の活性化、同施設を通じた「港の賑わい」に寄与できると考え、取得した。

今後は、横浜赤レンガ倉庫へ話題性のあるテナントを誘致する活動に取り組み、商業施設運営の知見を活用して「みなとみらい21新港地区」の賑わい拠点として発展を目指す。

同社は横浜赤レンガ倉庫に隣接するみなとみらい21新港地区4街区で商業施設開発事業「MM4街区プロジェクト」(2016年春開業予定)を進めており、横浜赤レンガ倉庫とプロジェクトの相互連携を図ることで、一体的な賑わい創出につなげる。

■横浜赤レンガ倉庫

所在地:神奈川県横浜市中区新港1-1-2

店舗数:物販・サービス36店舗

飲食16店舗

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/171407>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.